

7/30 鶴城地区〔鶴城・ハツ面〕 平成27年度「市長と語る市政懇談会」 自由意見等一覧（事前意見等の再質問等を含む）

整理番号	自由意見等（題名） 当日お聴きした意見等	（内容）	【回答】	担当課
1	地方交付税について	【質問】 西尾市は地方交付税をいくら受けていますか。 また、地方交付税がなくなったら、ますます財政がひっ迫するのではないですか。	平成26年度の普通交付税は、30億8,000万円程です。 西尾市1本で算定しますと3億6,000万円程ですが、合併しましたことによる合併算定替があります。これは旧団体がそれぞれあったものとみなして算定をしまして、旧3町分の財源不足分が入っているということでございます。内訳は、一色町が約14億9,000万円、旧吉良町が約5億6,000万円、旧幡豆町が約10億3,000万円でございます。 合併算定替分は、29年度から年度ごとに0.9、0.7、0.5と順々に落ちていくため、地方交付税がなくなることを見据えて、今、公共施設の再配置を進めております。	財政課
2	西尾高校北側の明治用水路敷の活用について	【要望】 西尾高校の裏に明治用水がありますが、現在は使われていません。水が流れないために、蚊の発生源となり、草木が茂り景観も良くありません。また子供たちが落ちる危険があります。蓋をして、遊歩道に活用していただくなり、西尾高校の生徒のランニングコースなどに利用できるように検討していただけたらありがたいと思っております。	西尾高校の北側の明治用水につきましては、前から雨水計画がございまして、現断面を利用した計画となっております。ボックスといまして、上に蓋をした形ですと、事業費も莫大なものになってきますので、現断面を利用した形で今のところ整備をしていきたいと考えております。	下水道整備課
3	いじめ問題について	【質問】 昨今、いじめが非常に問題になっております。西尾市では、皆さんご存知のとおり、昔、非常に世間を騒がせた大きないじめがありました。今現在、西尾市として、いじめ問題にどのように取り組んでいるのか、どのような成果を上げているのかご説明をお願いいたします。 また、いじめの実態は報告されているのですか。	生徒へのアンケート調査もしておりますし、1年に一度は全市を挙げまして大がかりに、緊張の11月を迎えます。いろんな形で子供たちの状況をつかむ努力をしております。あわせて、日ごろの子供たちの様子、指導する教員の体制も考える、そういう強調月間を設けております。今回の岩手県のような、教師と中学生とが生活記録などという言葉が出てきたと思いますが、普段、ああいうことは西尾でももちろんやっております。どこが不足したのか、何に気をつけなければいけないかということは、こういう事件があるたびに、私たちも今のままで良いのかどうかを常に考えながら、教育委員会としましては、校長が集まる機会がありますので、そういうときに指導をさせていただいております。 SOSをどうやって掴むかということは、学校だけではできません。地域の皆さんやご家庭、子供たちにかかわる全ての方たちが協力していただかないとできないことでありまして、学校は学校の責任を果たすようにしていきたいと思っておりますが、ご家庭や地域の皆さんも子供たちのわずかなSOSを掴んでやれる、そういうまちにしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。 いじめの実態ですが、子供たちがいじめられていると教師に訴えているケースはございます。ゼロではありません。	学校教育課
4	敬老助成金について	【意見】 敬老助成金については、町内会長が該当者に配っています。長寿課へお聞きしましたら「敬老助成金ですので行事等を行うならそれに使ってもらって、各個人には配付しなくてもいいのではないかと。ただし、今までもらってますので、そういう人たちから今年は何でもらえんのかという不満が出ないような対応をとっていただきたい」ということでした。 77歳以上に1,200円、そろそろやめて、地域のコミュニティを盛んにする敬老事業のために使うような方針を出してもらって、事業を継続されたほうが良いのではないかと思います。今、日中いない家がたくさんいますので、結構、配るとなると夜ですとか、現金ですのでポストにというわけにもいきませんので、町内会長の業務としては大変です。それぞれの町内会長さんからもそういう意見を聴いていますので、検討していただきたいと思っております。	敬老助成金については、本当に有効に使える方法が市民の方のためにも良いと思っておりますので、担当課で検討していきたいと思っております。	長寿課